

エリア研修
『川越編』



満員電車を見ると心が躍ります

小泉 一成（こいずみ かずなり）

- 2020年シン・コロナ時代の幕開けと共に停年退職
- 東京で街歩きガイドも催行
- 表現力に幅を持たせようと通訳の訓練中



・ 目次

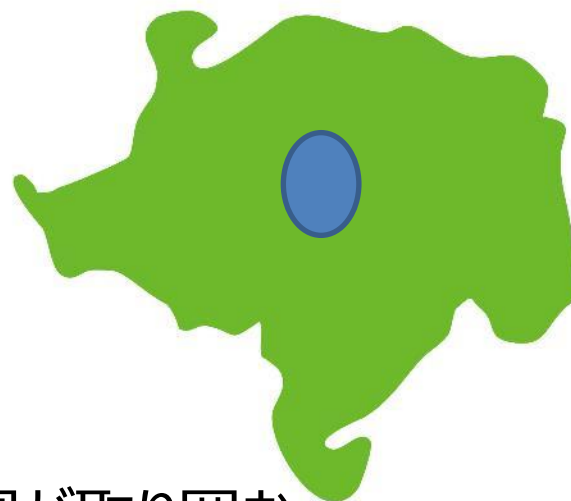
- 川越の概要
- ハイライトと観光スポット
- モデルコース
- ガイディングのポイント
- 下見のポイント

・ 目次

- 川越の概要
- ハイライトと観光スポット
- モデルコース
- ガイディングのポイント
- 下見のポイント

基礎データ

- 位置：東京の北西約35キロ
- 面積：109.13平方キロ
- 人口：約35万人
- 川越駅を中心とし、北側に旧市街、南側に新市街、さらに更に周りを田園が取り囲む
- 観光スポットはほぼ2平方キロの範囲に集中



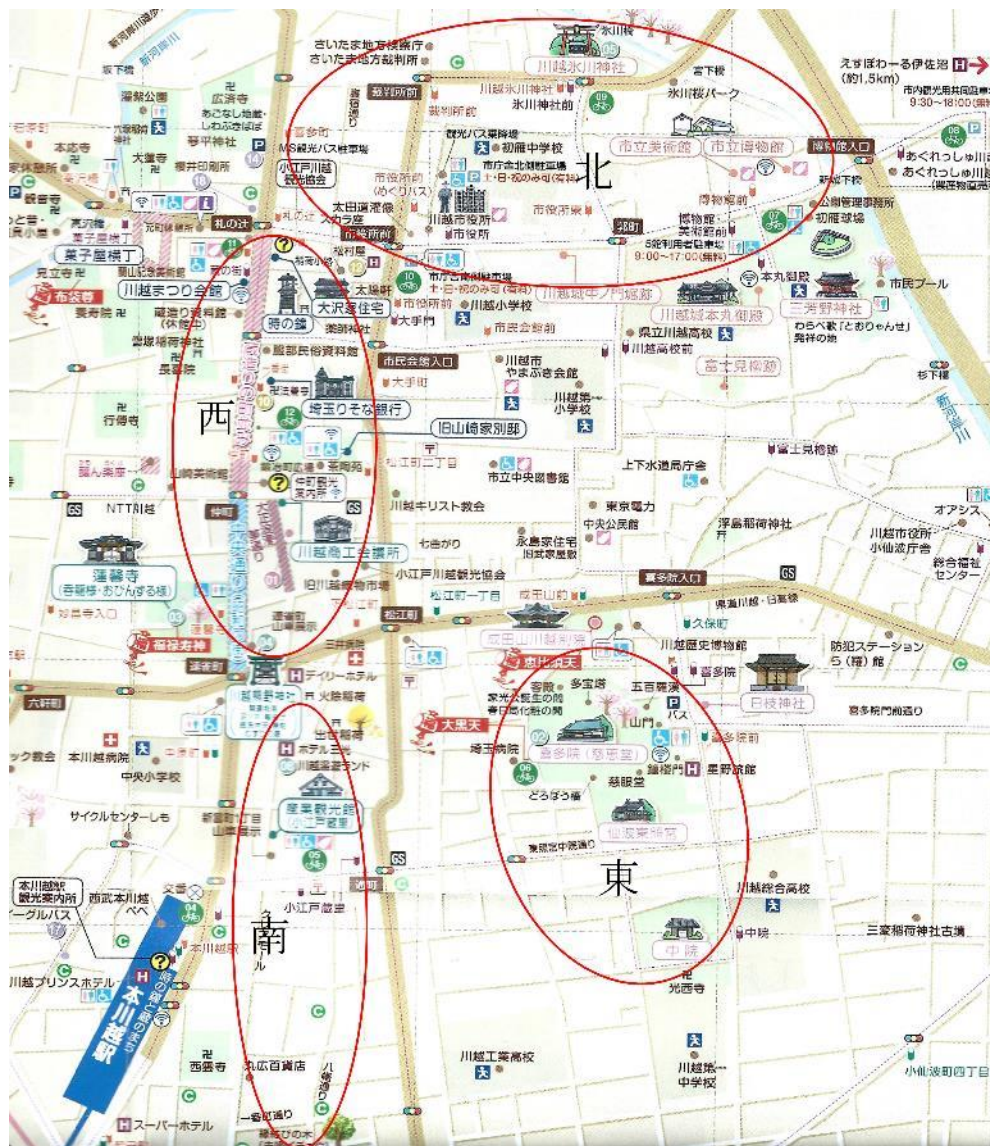
川越の概要～発展のキーポイント

1. 室町時代中期から江戸時代にかけて、軍事的政治的に重視された。
2. 付近に東京に流れ込む大きな川がある。
 - 1とも相まち、運河の開削が進んだ。
 - 大量物流が可能となり、東京の食の需要を賄う一大産地となった。
3. これらにより、商業的にも東京とのつながりが深くなり、商業としてもにぎわった。

・ 目次

- 川越の概要
- ハイライトと観光スポット
- モデルコース
- ガイディングのポイント
- 下見のポイント

ハイライト～観光スポットの分布





うらかわ～新しい川越カルチャー

- 新市街商店街クレアモールや旧市街一番街の裏手に佇む隠れ家的なオシャレなお店
- 雑貨のセレクトショップ・アンティークショップ・フラワーショップなど、外国からのお客様にも喜ばれるような、こだわりのあるお店が若者中心に展開されている。
- 雑貨ソコノワ、RAG CAFE、花のKONOHANA、古雑貨Utakata、etc.

番外～ 蔵里（くらり）

- 約120年間の歴史を持つ酒蔵を改装した産業観光館
- 「小江戸川越ブランド産品」、埼玉県内34蔵の日本酒、地場食材を生かした料理・加工品が集結した施設
- 「蔵」の雰囲気を生かした空間で、川越の魅力を発信





春は桜 秋は紅葉

主なスポット

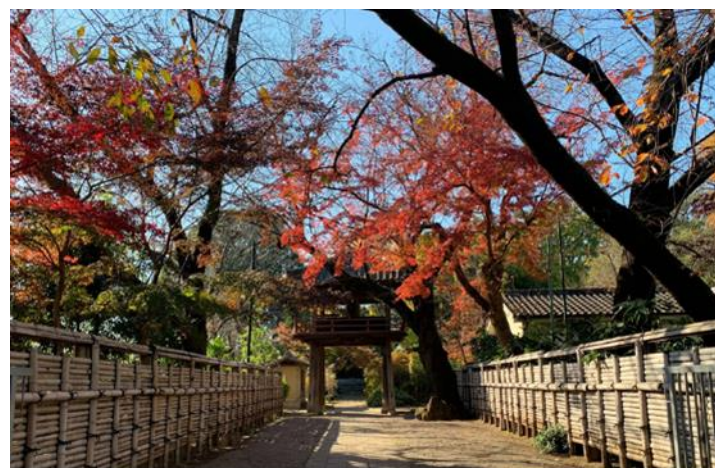
中院

仙波東照宮

喜多院

中院

- 山門と紅葉のコントラスト
- 川越茶発祥の茶の木
- 島崎藤村ゆかりの茶室



仙波東照宮

- 日曜祝祭日は開門。1月、4月、8月の17日のみ公開
- 喜多院へ続くフォトジェニックな葵庭園
- 葵庭園の池では蛍が自生



ハイライト（東地区）

喜多院

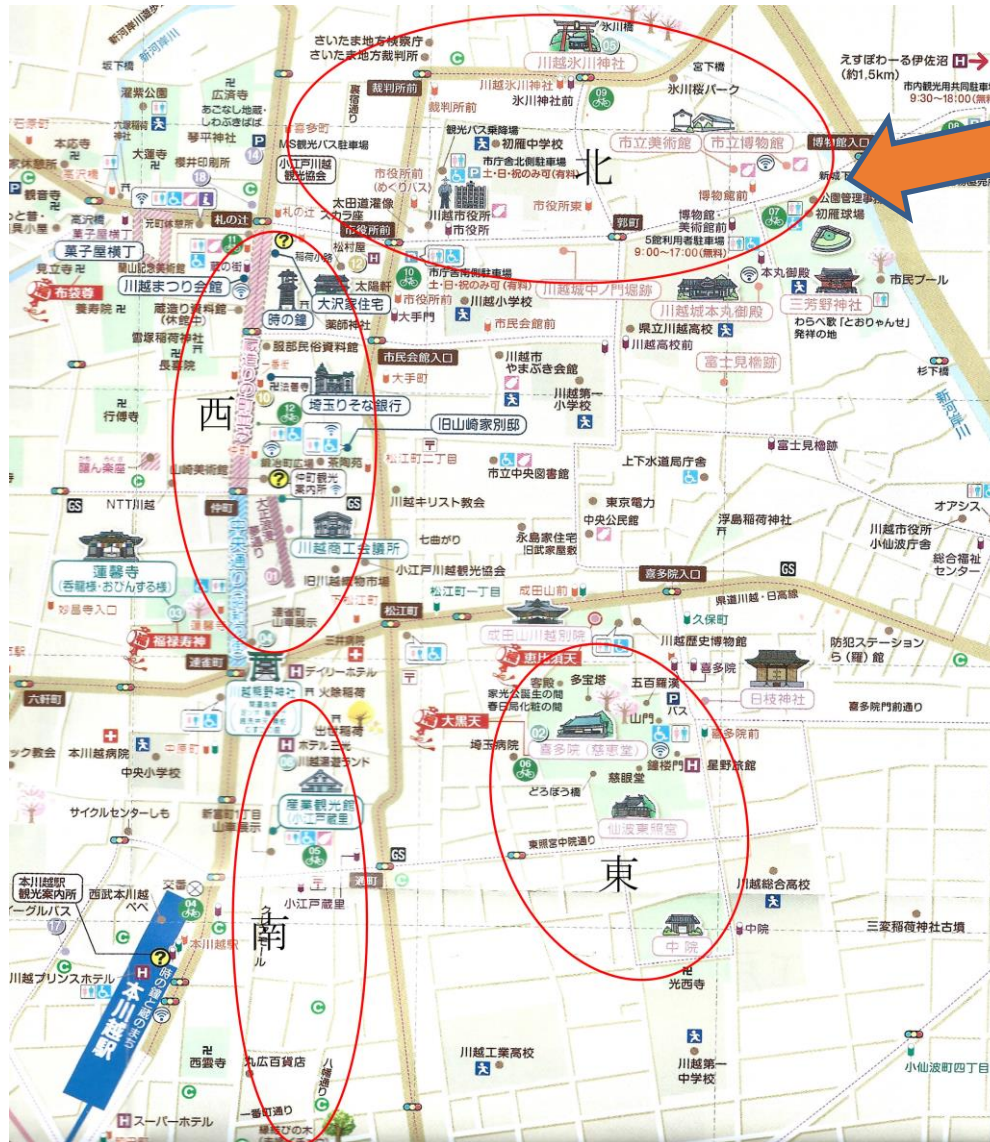
- 春は桜、秋は紅葉
- 五百羅漢の変化に富んだ表情。
ユーモラスな表情は必見
- 初期の江戸城から移築された客殿と
書院。貴重でフォトジェニックな空間
- 厄除け団子
川越で人気のスイーツの一つ



休憩スポット

- 喜多院境内の売店
- はすのかカフェ
- 東屋（ウナギ）

ハイライト～観光スポットの分布



もう一つのうらかわ & 伝承の街

主なスポット

川越城

氷川神社

弁天横丁

川越城

- 江戸時代数々の重臣が城主を務めた
- 日本名城100選にも選出
- 数奇な伝説にまつわる遺構



ハイライト（北地区）

川越氷川神社

- 祭神は二組の夫婦神と大国主命
- 御利益は縁結び
- 縁結び玉
- 絵馬のトンネル
- 鯛のおみくじ
- ハガキの木
- 遊べるスポット、フォトジェニックなスポット



弁天横丁

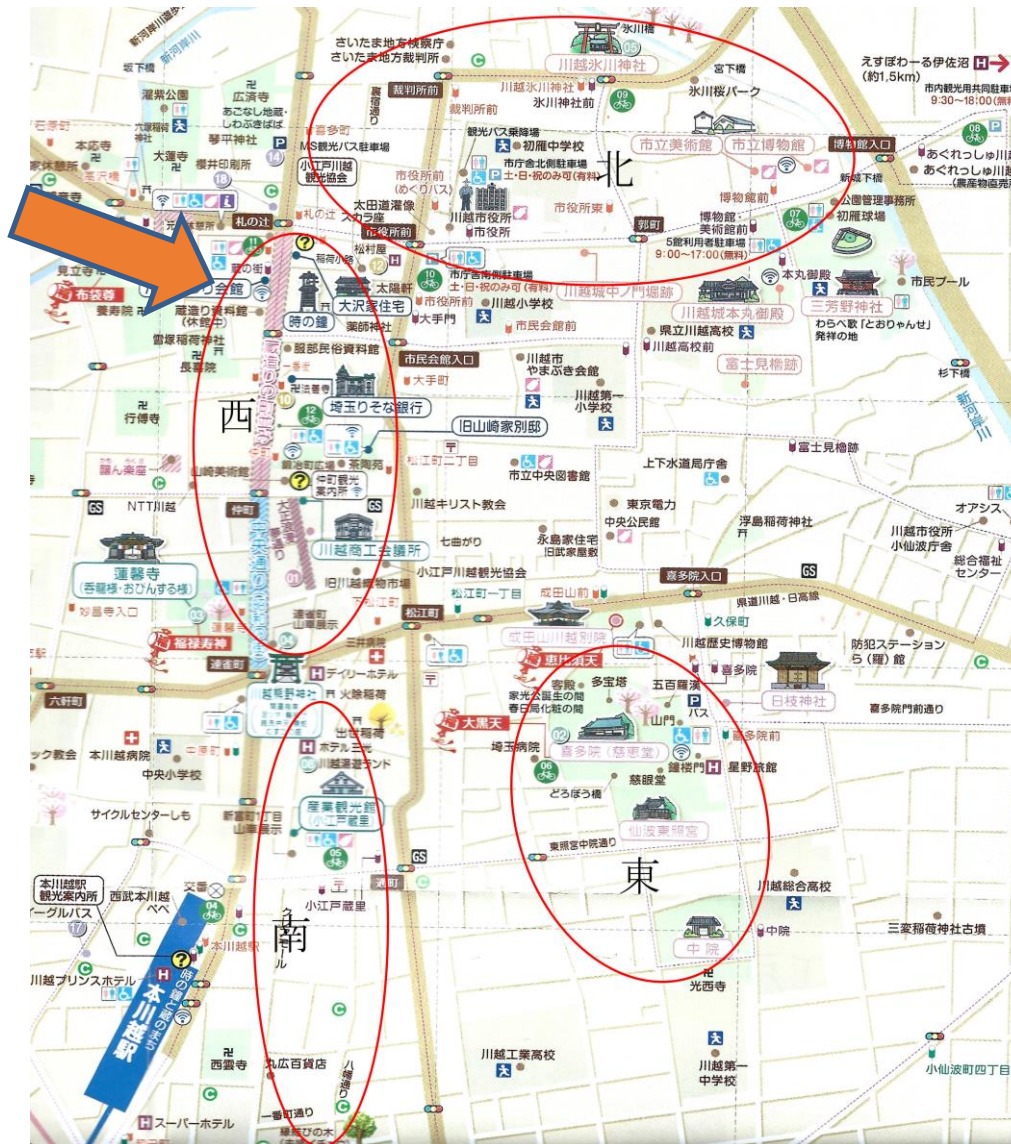
- 昭和の妖艶な風情
- 若者たちのイノベーション基地
- 昭和初期のレトロな建物を生かした店舗（カフェ 二軒堂、トモリ食堂、ギャラリーすーじぐわー）



休憩スポット

- 道灌（和菓子）
- 二間堂
- ハツネヤガーデン カフェ

ハイライト～観光スポットの分布



様々な伝統建築が一気に見られる街

主なスポット

菓子屋横丁

一番街（蔵の街）

大正浪漫夢通り

菓子屋横丁

- 昭和60年代から再建
- 昭和レトロをイメージした駄菓子屋街
- 「かおり風景100選」（平成13年）
- 一番街と並んで最も人気なスポット。
- 明治の大火の火元、蔵の街ができる要因となった



ハイライト（西地区）

一番街

- 土蔵建築群 重伝建（重要伝統的建造物群保存地区）に指定
- 時の鐘：明治時代に再建
現在も一日4回時を告げている
- 陶舗やまわ：朝ドラ「つばさ」の舞台
屋根瓦に魔除けの鍾馗像
路面に引き込み線
引き込み線の先にレストラン 陶路子（とろっこ）



まつり会館

- 約370年の伝統を誇る川越祭体験スポット
- 実際に曳かれる山車29台の内2台を常時展示
- 川越祭は32件の行事と共に
2016年ユネスコの無形文化遺産
登録



稲荷小路

- 蔵造りの町並みから一步入った、フォトジェニックな裏路地
- 大きなクスノキの木に「楠稲荷」の鳥居祠の中には数多くの狐像
- 石畳と木塀の織り成すレトロな趣き



一番街

- 街道沿いの土蔵建築の屋根の装飾
- 亀屋本店：精巧な2階の観音扉
- 夕暮れ時 薄暗い中にうっすらと立ちそびえる真っ黒な建物群
薄気味悪さは鳥肌が立つ思い。



一番街～大正浪漫夢通り

- 華やかな西欧（風）建築が建ち並ぶ街道。
- 瀟洒な洋風町屋
- 商工会議所ビルは川越のパルテノン神殿と呼ばれる



昭和通り

- 蓮馨寺の縁日：
毎月 8 日に大道芸やフリー
マーケット開催



熊野神社

- 英語のおみくじ
- 御社紋は、三本の足を持つ「八咫烏(やたがらす)」
導きの神として信仰を集める
- 毎月第三日曜日は銭洗弁財天の縁日
宝池で清めた御福銭が配られる
- 元々東照宮であったとの説もある



ハイライト（西地区）

休憩スポット

- ハツネヤガーデン カフェ
- 足湯喫茶 椿や
- シマノコーヒー大正館
- 川越アートカフェ エレバート
- スターバックスコーヒー

Etc...



ハイライト（名物）

食事・食品類

- 仏蘭西料理
モダン亭太陽軒
HATSUNEYA GARDEN
- ウナギ
人気店小川菊 うなっ子など
- すし
幸すし
- 太麺焼きそば
- 武蔵野うどん
- 醤油：松本醤油店 金笛醤油



食事・食品類

- 幸すし
- 春夏秋冬（うどん）

ハイライト（名物）

お菓子類

- イモ菓子：あまたまかりん いも恋 里白慢 etc
- 焼き団子：厄除け団子 etc
- 亀屋の最中
- 麩菓子：1メートル近くある長い麩菓子

Etc...

・ 目次

- 川越の概要
- ハイライトと観光スポット
- モデルコース
- ガイディングのポイント
- 下見のポイント

モデルコース（1泊2日）

【一日目】

- 川越市駅集合
- レンタサイクル
- 入間川を時計回りに伊佐沼迄サイクリング
- 小江戸温泉で癒し

【二日目】

- 市内観光名所めぐり
- レンタサイクル返却の後、川越市駅または本川越駅で解散

モデルコース（半日：3～4時間）

川越駅スタート（バスで移動）

～一番街

～大正浪漫夢通り

～昭和の街

～菓子屋横丁

～氷川神社

一番街は11時以降混雑するので、午前10時くらいにスタートがおすすめ



モデルコース（1日）

各鉄道駅スタート
～一番街
～菓子屋横丁
～氷川神社
～川越城本丸御殿
～喜多院
～仙波東照宮
～中院
～大正浪漫夢通り



・ 目次

- 川越の概要
- ハイライトと観光スポット
- モデルコース
- ガイディングのポイント
- 下見のポイント

ガイドिंगのポイント

- ・ 川越は蔵、川越はイモ菓子 のイメージにとらわれない
- ・ スポットが分散していることを念頭に置く
- ・ 交通事故に気を付ける
- ・ 夏場は日陰がないので、熱射病に注意

・ 目次

- 川越の概要
- ハイライトと観光スポット
- モデルコース
- ガイディングのポイント
- 下見のポイント

下見のポイント

- ・ 分散するスポットを如何につなぐか
- ・ バスを利用する際、本数が少ないので、スポットでの滞在時間に無理がないか確認する
- ・ 観光客が去った後に魅力的な姿を見られることがある
- ・ 立ち寄るお店の休日を確認
- ・ トイレ休憩場所も想定しておく。

【3S】を使った説明例

【3S】を使った説明例「場所／もの」

結論

- これは「鯛みくじ」です（@氷川神社）

解説

<make Sense>

- 赤い鯛みくじの内容は通常のもの、ピンクの鯛みくじは恋愛をうらなうおみくじです。
- 恋の悩みのある人は、ピンクの鯛みくじをおすすめします。出会いの時期や相性の良い人などが幸せな恋をするにはどうすればいいか、神様からのアドバイスがもらえます。

<Surprise>

- このおみくじは手でひくのではなく、魚を釣るように専用の釣り竿を使って釣り上げるんですよ。
- 季節によって白や青、黄、緑などの限定色が仲間入りしていることもあります。鯛みくじは持ち帰ることができるので、家に飾ったり、キーホルダーやストラップにしてお守り代わりにすると素敵なご縁を引き寄せることができるかもしれませんよ。

<Smile>

- ただし、狙った獲物はなかなか釣れません。本当に恋愛そのもののようですね。

【3S】を使った説明例「場所／もの」

結論

- これは「時の鐘」です

解説

<make Sense>

- 17世紀前半から町に時を告げ、庶民に親しまれてきた鐘つき堂です。
- 現在建っているのは4代目に当たり、19世紀末に起きた川越大火の翌年に再建されたものです。
- 時の鐘は木造の3層構造の塔になっており、その高さは16メートルにもなります。

<Surprise>

- 昔は鐘撞き守が手動で決まった時間に時を知らせていましたが、現在では機械式の構造となっています。
- 午前6時・正午・午後3時・午後6時の1日4回鳴ります。鐘の音はとてもいい音なので、お時間があれば是非聞いてみてくださいね。

<Smile>

- ただし、音が小さいんです。残念ながら、現在は町じゅうに時を知らせる役目とはいえませんね。

FIN.